

野生いのししに対するCSF(豚熱)経ロワクチンの第2回散布について

令和2年6月16日
危機管理部
農林水産部

野生いのししに対するCSF経ロワクチンの散布については、京都府以西へのウイルス拡大防止のため、本年2月に京都市以北で第1回散布を実施したところです。

今回、新たに山城地域を加えて、来る6月19日(金)から第2回散布を開始しますので、下記のとおりお知らせします。

1 経ロワクチンの散布実績及び計画

(1) 状況

	第1回(実績)	第2回(計画)
散布期間	令和2年2月25日(火)～2月29日(土)	令和2年6月19日(金)～6月30日(火)
回収期間	令和2年3月1日(日)～3月6日(金)	令和2年6月24日(水)～7月5日(日)
散布地域	舞鶴市、綾部市、南丹市、京都市 (4市)	舞鶴市、綾部市、南丹市、京都市、 宇治市、宇治田原町、和束町、南山城村 (5市2町1村)
散布箇所(個数)	350箇所(7,000個)	450箇所(9,000個)
備考	回収結果を解析したところ、 経ロワクチンの摂取率は28.9%	夏期(7～9月)、冬期(12～3月)も 継続して散布予定

(2) 散布地域を拡大する理由

野生いのししのCSF感染地域が、本年4月以降三重県、滋賀県から京都府内へ拡大しており、本府より以西へのウイルス拡大を防止するために国から要請があったため

2 実施主体

京都府野生いのししCSF経ロワクチン散布等対策協議会

〔構成団体：京都府、散布地域を含む市町村、(一社)京都府猟友会、京都府農業協同組合中央会、
京都農業協同組合、京都府養豚協議会、(公社)京都府家畜畜産物衛生指導協会〕

3 経ロワクチンについて

- ・ワクチンに入ったアルミ包の周りにトウモロコシ粉等を固めた四角形の固体で、ワクチンを摂取してもいのしし肉の安全性に影響はないと、国の食品安全委員会で評価されています。
- ・他の野生動物がワクチンを摂取しても影響はありません。

4 その他

- ・CSFは、豚、いのししの病気であり、人に感染することはありません。
- ・防疫及び安全性の観点から、散布場所での取材は厳に慎んでください。
- ・なお、経ロワクチン散布に係る写真を6月19日(金)15時目途に提供させていただきます。
(悪天候等による散布日時の変更に伴い、提供日時が変わる場合があります。)

畜産課 課長 高橋(075-414-4980)
農村振興課 課長 田村(075-414-4905)
農政課 課長 小瀬(075-414-4895)

(裏面あり)



令和2年度CSF経口ワクチン散布地域（京都府）

